

## 詳細プログラム【第2日目:12月8日(日)】

### 第1会場(20502 教室)

#### ●会長講演

9:00-9:30

座長:下澤達雄(国際医療福祉大学医学部臨床検査医学)

食品機能性成分を用いたがん予防研究について

矢野友啓(東洋大学大学院健康スポーツ科学研究科分子食理学)

#### ●シンポジウム3 機能性食品の臨床応用

9:45-11:15

座長:伊藤壽記(大阪がん循環器病予防センター)

安枝明日香(東洋大学食環境科学部健康栄養学科)

S3-1. がん患者の健康食品摂取に関連した有害事象の症例報告のシステマティックレビューからみた、利用状況や健康被害の特性の解析

小島彩子(アルゴリンクス株式会社 / 元国立健康・栄養研究所)

S3-2. 肝類洞壁構成細胞の解剖学的特徴に着目した肝機能改善素材の探索

宇留島隼人(大阪公立大学大学院医学研究科機能細胞形態学)

S3-4. 上部消化管癌集学的治療の成績向上を目指した腸内環境制御

本告正明(大阪急性期・総合医療センター)

S3-5. 膵癌における AHCC(機能性食品)の有効性を検証する臨床研究

橋本大輔(関西医科大学胆膵外科学講座)

#### ●ミニシンポジウム 既存薬戦略と食品戦略に基づくがん予防と臨床試験

11:25-12:25

座長:武藤倫弘(京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的予防医学)

矢野友啓(東洋大学大学院健康スポーツ科学研究科分子食理学)

MS-1. アスピリンのがん予防臨床試験

武藤倫弘(京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的予防医学)

MS-2. *In silico* 解析より抽出したレスベラトロールの大腸癌予防効果

高山哲治(徳島大学大学院医歯薬学研究部消化器内科学)

#### ●ランチョンセミナー2

12:40-13:40

座長:矢野友啓(東洋大学大学院健康スポーツ科学研究科)

L2-1. 私達は腸内細菌と一体となり、初めて一つの生命体なのです!

齋藤善信(株式会社 SOPHIA)

L2-2. 食事が創る免疫:がん治療における栄養の力

岩澤卓弥(東洋大学ライフイノベーション研究所)

●シンポジウム4

加齢性疾患予防に向けたポリフェノール研究の最前線(共催:日本ポリフェノール学会)

14:20-15:50

座長: 禹 濟泰(中部大学応用生物学部応用生物化学科)

岸本良美(摂南大学農学部食品栄養学科)

S4-1. 日本人における加齢性疾患リスクとポリフェノール摂取量との関連

岸本良美(摂南大学農学部食品栄養学科)

S4-2. 加齢指標タンパク質 SMP30 を制御するポリフェノール類

井上博文(東京農業大学応用生物科学部食品安全健康学科)

S4-3. 黒大豆ポリフェノールが脳機能に及ぼす効果

山下陽子(神戸大学大学院農学研究科)

S4-4. ポリメトキシフラボンの多様な生理機能とその作用メカニズム

禹 濟泰(中部大学応用生物学部応用生物化学科)

●閉会式

15:55-16:05

第2会場(20507 教室)

●一般演題4 腸内細菌を調節する機能性食品/皮膚機能を調節する機能性食品(O-25~O-32) 10:30-11:50

座長: 柳内秀勝(国立国際医療研究センター国府台病院)

石田達也(東洋大学健康スポーツ科学部)

●一般演題6 運動機能を調節する機能性食品(O-41~O-46)

14:00-15:00

座長: 北村秀光(東洋大学生命科学部生体医工学科)

米澤貴之(中部大学生物機能開発研究所)

第3会場(20501 教室)

●一般演題5 代謝を調節する機能性食品2(O-33~O-40)

10:30-11:50

座長: 宮越雄一(東洋大学健康スポーツ科学部)

友寄博子(熊本県立大学環境共生学部)